



興性寺本堂内にて、義援金をお渡しました

東日本大震災被災地への思い 仮設住宅訪問
心豊かな生活を祈る

去る平成二十八年三月九日より三月十一日までの三日間、岩手教区興性寺主催による岩手県仮設住宅お見舞い活動へ、深田修驗課長補佐と共に参加した。

この活動は震災以降、興性寺の司東和光住職を中心として、副住職、寺式の後、興性寺住

法務課 飯沢 隆秀

庭婦人、檀信徒、そして近隣寺院の住職、副住職により、現在も仮設住宅に住まわれている被災者の皆様方のお宅に、一軒一軒お見舞いのお品をお届けする活動である。この尊い活動に、かねてより大山御貫首は深く賛同しております、当山としても参加させて頂いています。

興性寺本堂に於いて義援金授与式を執り行う。この義援金については、当山境内に設置している震災義援金募金箱より、檀信徒の皆様方からお寄せ頂いた募金であり、皆様方の思いを被災者に、被災地へとお届けさせて頂いた。授与式の後、興性寺住

職を始め、副住職、寺庭婦人、檀信徒と共に見舞いの品を車に積み、仮設住宅へ向けて出発をする。

仮設住宅に到着し、「これから一軒一軒伺わせて頂きます。どうか皆様方が日々を健康で、心豊かな生活を過ごせますよう」と思いを込め法螺貝を立てる。一軒一軒伺うと、「遠くから本当にありがとうございます」と、私たちも頑張るからね。」と住民の方から感謝の言葉を頂いた。未だに困難を強いられる中、立ち直りに向ける、ひた向ぎに歩まれた姿を見た時、こうした現実を私達はいつまでも忘れない。未だに困難を強いられない。

張るからね。」と住民の方から感謝の言葉を頂いた。未だに困難を強いられない。

その心に刻まなくてはならない。



仮設住宅や学校を訪れ、被災者の皆様と交流を行った

去る四月二十日、大山御貫首が八王子市役所を訪れ、熊本地震の被災地支援の義援金の目録を、石森市長に手渡されました。この義援金は日本赤十字社を通じて被災地へ送るほか、社会福祉協議会を通じて、災害ボランティア活動の支援金として活用されます。

このたびの大地震と、度重なる余震により被災された多くの皆様に謹んでお見舞い申し上げ、災害によりお亡くなりになられた方々の御冥福を、心よりお祈り申し上げます。

そして、一刻でも早い復興と、平安なる日々が訪れますようご祈念申し上げます。



大本山 高尾山 藥王院



岩手県の愛宕山興性寺の司東御住職より、五一ページに掲載されてあります。仮設住宅訪問活動に対しまして、後日感謝状が届きました。
現在は御護摩受付所隣の、信徒休憩所にて掲示させて頂いております。

興性寺御見舞活動支援金
高尾山に感謝状届く